

The Whisper from Amherst



エミリーのささやき

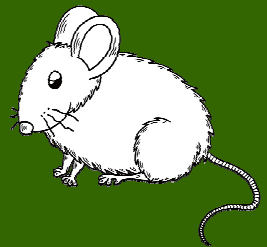
エミリーは小さきものをこよなく愛していました。今日はそんなエミリーをテーマにした小さな本を紹介します。みすず書房から出版されている『エミリー・ディキンソン家のネズミ』です。

ディキンソン家に住みついた白いネズミとエミリーが交換日記のように詩のやりとりをしながら友情を深めていくこの本の中には、エミリーの詩が12篇編みこまれており、その中のどの詩をとっても、エミリーの女性らしさ、愛らしさが感じられます。

白ねずみのエマラインは物語の中で、エミリーは自分の恐怖をわかってくれていると書いています。つまり白ねずみは、エミリー自身でもあり、この詩をとおして天の父の王国、つまり天国に自分の居場所をつくってほしいと懇願しているのです。



Papa above!



Papa above!

Regard a Mouse

O'erpowered by the Cat!

Reserve within the kingdom

A "Mansion" for the Rat!



Snug in seraphic Cupboards

To nibble all the day,

While unsuspecting Cycles

Wheel solemnly away!



天の父よ！

猫に追いかけられる

ネズミを見まもってやってください。

あなたの王国のなかに

ネズミの「家」をつくってやってください。



浄らかな戸棚で心おきなく

一日じゅうエサを齧^{かじ}らせてやってください。

そして、なにくわぬ顔で、

厳かに、月日を巡らせていってください！

